

教科	商業	科目	原価計算	単位数	3
学年	2年	類型	情報ビジネス科B類型		
教科書(出版社)	原価計算 新訂版(東京法令出版)				
副教材(出版社)	完全段階式標準検定簿記問題集原価計算(東京法令出版)				
授業の概要	製造業における工業簿記の記帳法と、原価計算の基本的な考え方、知識と技術を習得する。また、原価計算によって得られる情報を効果的に活用するための能力と態度を育てる。				
授業の目標	1 原価計算に関する基本的・基礎的な知識と技術を身に付ける。 2 製造業において行われる取引・活動を計数的に把握し、活用する学習を通して、原価に対する理解を深める。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	第Ⅰ編 原価と原価計算 第1章 原価の概念と原価計算 第2章 製造業における簿記の特色としくみ 第Ⅱ編 原価の費目別計算 第1章 材料費の計算と記帳 第2章 労務費の計算と記帳 第3章 経費の計算と記帳 第Ⅲ編 原価の部門別計算と製品別計算 第1章 個別原価計算	・原価の概念、原価計算の目的、製造業における簿記の特色としくみについて学び、原価計算の概要について理解する。 ・材料費、労務費及び経費の計算と記帳をとおして、原価の費目別計算を行うための基礎的な知識と技術を習得する。 ・個別原価計算、部門別個別原価計算、総合原価計算について学び、原価の部門別計算と製品別計算の行うための基礎的な知識と技術を習得する。		
	2 学期	第2章 原価の部門別計算 第3章 総合原価計算 第Ⅳ編 製品の完成・販売と決算 第1章 製品の完成と販売 第2章 本社・工場会計 第3章 製造業の決算 第Ⅴ編 標準原価計算 第1章 標準原価計算の目的と手続き	・製品の完成・販売と本社・工場間の取引の記帳方法及び製造業の決算について学び、製品の完成・販売に関する会計処理と決算を行うための基礎的な知識と技術を習得する。 ・標準原価計算の目的と手続き、原価差異の原因分析及び損益計算書の作成をとおして、標準原価計算を行うための基礎的な知識と技術を習得する。		
	3 学期	第2章 原価差異の原因別分析 第3章 損益計算書の作成 第Ⅵ編 原価情報の活用 第1章 利用計画と直接原価計算 原価の変動費と固定費の分解 安全余裕率の算定 記帳練習	・直接原価計算の目的と損益計算書の作成及び短期利益計画について学び、直接原価計算の有用性について理解する。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	原価計算に関する学習に興味・関心を持ち、授業や課題に対して意欲的に取り組むなど、知識の深化と技術の向上に努めている。	様々な原価計算について、それぞれの意義や計算・記帳方法を理解し、適切な判断に基づいて利用できている。	算出された数値や記帳された帳簿から得られる原価情報を、適切に活用することができる。	基礎的・基本的な原価計算に関する知識と仕組みを理解するとともに、各種の数値の算出や帳簿の記帳ができる。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに定期考査までの学習のまとめりにごとに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。				